

網膜芽細胞腫全国登録へのご協力をお願い

網膜芽細胞腫は小児の重篤な疾患であり、失明の大きな原因の一つです。

日本眼科学会の認定事業として、網膜芽細胞腫全国登録を行っています。

この全国登録事業は、我が国で網膜芽細胞腫の診療・研究に関わっている代表的な眼科医が構成する網膜芽細胞腫全国登録委員会が中心となり、全国の約 200 の眼科診療施設が協力して行っています。1975 年から現在まで、すでに 3,000 名を超える登録があり、これによって、我が国においては網膜芽細胞腫が 1,6000 人に 1 人起こることや、進行度によって治療方針を決めることなどが判明し、その成果は「日本眼科学会雑誌」などに公表されています。

この全国的登録によって、我が国における、病気の発生状況や特徴がさらに明らかになれば、今後の診断や治療法について新たな知識を得ることができ、多くの患者さんを救うことにつながります

つきましては、病気の状態を登録することにご協力いただけますでしょうか。登録に際しては、国が定めた疫学研究の倫理指針にのっとり、調査・登録内容に関する医療情報の管理を行い、かつ個人が特定されないよう対応し、プライバシーも保護されます。また、この調査・登録に同意いただけない場合でも、不利益をこうむることはありません。

以上のご理解の上、医学の向上のためにご協力いただきたく、お願い申し上げます。

網膜芽細胞腫全国登録委員会

委員長 東 範 行

病院名

医 師

同意書

網膜芽細胞腫全国登録について、以下の内容の説明を受けました。

(了解した項目について✓を記入してください)

- 網膜芽細胞腫の全国登録についての説明
- 病気の状態を登録すること
- 個人が特定されることはなく、プライバシーは保護されていること

上記の趣旨を理解し、網膜芽細胞腫全国登録の主旨を理解し、登録に

- 協力します
- 協力しません

年 月 日

病院名

説明者氏名

印

情報提供者氏名

(自署)

代諾者氏名

(自署)

続柄

(ご本人が20歳以下の場合、または同意あるいは自署できない場合は、
保護者の署名をお願い申し上げます。)